

第5回こども貧困対策会議 資料

# 平成29年度ステップ事業報告



ASK NET

NPO法人 アスクネット

名古屋市熱田区沢下町8-5  
TEL 052-881-4349 FAX052-881-5567

E-mail [info@asknet.org](mailto:info@asknet.org)  
<http://www.asknet.org>



# 【ステップ】平成29年度事業報告

## 1. 利用決定生徒

学年	利用決定人数				合計 (※)
	生活保護 受給世帯	就学援助 受給世帯	母子又は 父子家庭	その他	
中学1年生		1名	2名	1名	3名
中学2年生		5名	4名	1名	6名
中学3年生	1名	10名	8名	3名	15名
高校1年生			5名	4名	8名
高校2年生			4名	3名	6名
合計	1名	16名	23名	12名	38名

※合計は利用決定者数（世帯状況は重複する項目あり）

## 2. 実施回数と参加状況

- 実施回数：61回
- 参加生徒：のべ1263名（1回平均約20.7名）
- チャレンジサポーター参加数：のべ337名（1回平均約5.4名）
- キャリア教育支援イベント実施回数 15回

# 【ステップ】平成29年度事業報告

## 3. その他の実施事項

### (1) ステップ通信発行

- 目的：主に教員や保護者にステップの活動の様子を知ってもらう
- 発行回数：2ヶ月に1回発行（年間6回）
- 配布方法：ステップで配布、または、学校から生徒への配布を依頼

### (2) 昼食支援

- 協力団体：17団体
- 利用生徒数：のべ871名（1回平均約14.3名）

### (3) 「あすたか」との連携

- 対象：「あすたか」に参加している小学生
- 目的：将来的なステップの利用にスムーズにつなげるための体験の機会
- 実施日：夏休み中及び講座実施日
- 内容：宿題のサポート、イベント（流しそうめん大会、バレンタイン講座）への参加

# 【ステップ】平成29年度事業報告

## (4) 評価指標作成（※別添資料）

- 目的：生徒個人におけるステップの効果を測定し、事業の成果を測り、事業の質の向上につなげることを目的とする。
- 監修：高綱睦美氏（愛知教育大学）
- 成果：ステップにおける評価指標及び分析アンケートの作成

## (5) チャレンジサポーター定例会

- 目的：チャレンジサポーター同士の情報共有や支援内容についての話し合い
- 実施回数：3回（5月28日、8月27日、12月17日）

## 4. 卒業生の進路

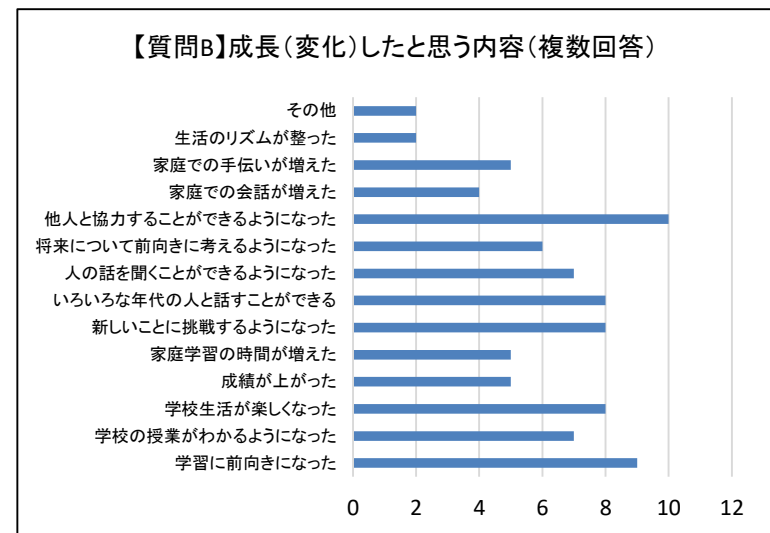
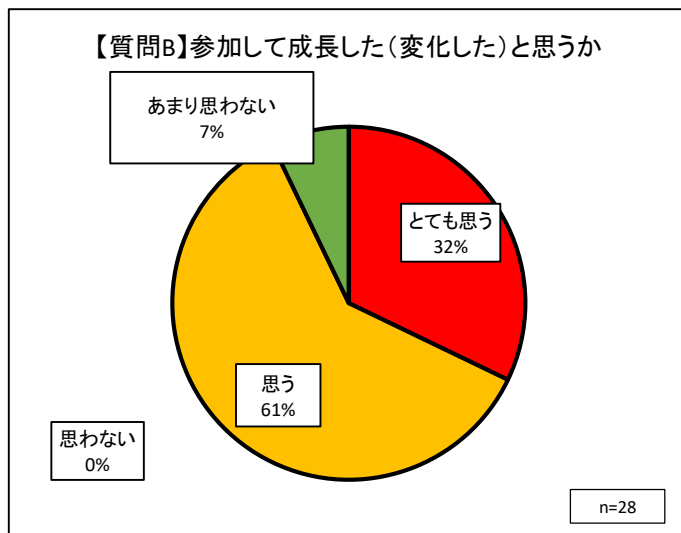
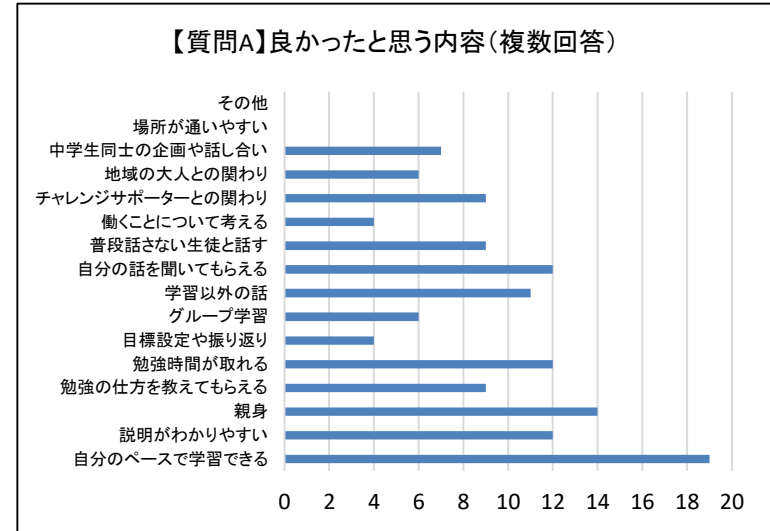
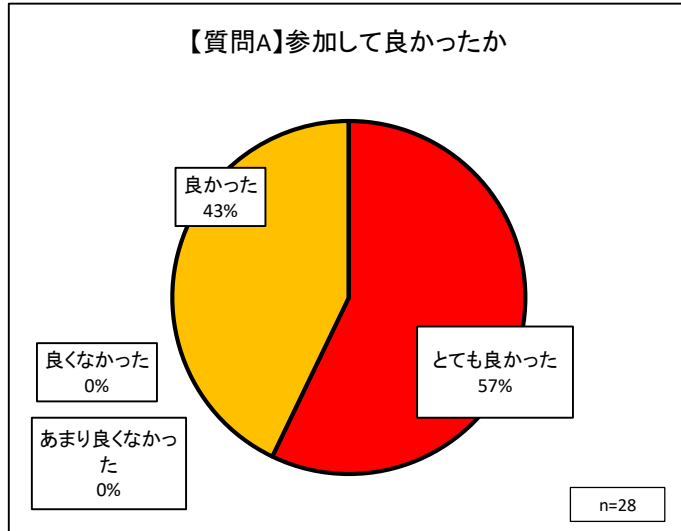
### 【進学先】

- 碧南高等学校
- 刈谷東高等学校
- 名古屋情報専門学校
- 安城特別支援学校

### 【就職】

- 授産所高浜安立

# 【ステップ】生徒アンケートより抜粋



# 【ステップ】生徒アンケートより抜粋

- 後輩と仲良くすることができた。同じ学校じゃない人と仲良くできた。言いたいことが言える。
- ステップで勉強が好きになりました。
- 勉強に前向きになった。
- 特に分からないことを分かるようになるまで勉強しています。そのおかげでテストの点が伸びたり提出物がすらすら解けるようになった。
- ステップに参加する前は、人の前に立って話すことが苦手だったけど、ステップで人の前で話をしていくうちに慣れていき、学校でも人の前でも話せるようになってきました。

# 【あすたか】平成29年度事業報告

## 1. 利用決定児童

学年	利用決定人数			
	母子家庭	父子家庭	その他	合 計
小学4年生	3名	1名	0名	4名
小学5年生	3名	0名	0名	3名
小学6年生	4名	1名	0名	5名
合 計	10名	2名	0名	12名

## 2. 実施回数と参加状況

- 実施回数：71回
- 参加生徒：のべ346名（1回平均約4.9名）
- 高校生サポーター参加数：のべ143名（1回平均約2名）
- 地域支援員参加数：2名（のべ65回）

# 【あすたか】平成29年度事業報告

## 3. その他の実施事項

### (1) あすたか通信発行

- 目的：主に教員や保護者にあすたかの活動の様子を知ってもらう
- 発行回数：1ヶ月に1回発行（年間10回）
- 配布方法：あすたか支援内で配布、または郵送

### (2) モンスタークエスト

- 目的：異学年同士で学び合いをする
- 内容：学校の宿題や用紙したプリントを用いて、分からないところをお互いに教え合い、苦手を減らしていく。
- 結果：上の学年の子が下の学年の子に教えて理解を深める光景が見られた。また自ら学習を進めることが苦手な子も解決しようという意欲を引き出すことが出来た。下半期より、1人ひとりに合った国語、算数、英語の教材を冊子で準備し、指導員が確認する事で、より正確な学力の把握に努めた。



# 【あすたか】平成29年度事業報告

## (3) 体験講座

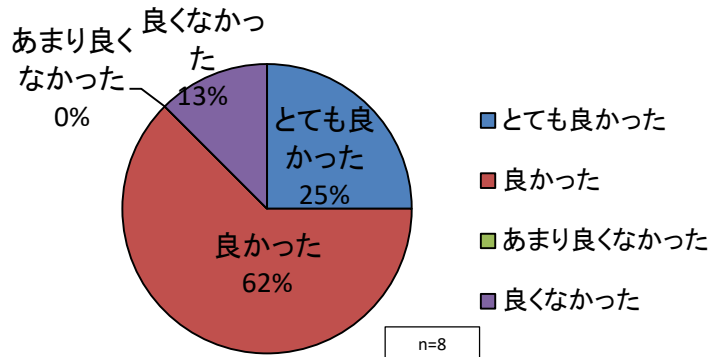
- 目的：学習以外の体験から学びを見つけてもらう。
- 内容：俳句を作ろう、高校生にハンドベルを教わろう、自分年表を作ろう、メモスタンドを作ろう、絵手紙講座、けがの手当てを学ぼう、ペーパークラフト、ワードサーチ、季節の工作、しおりをつくろう、消しゴムはんこ作り、ヘルマンハーブミニコンサート&体験会、アクアリウム作り、など
- 結果：勉強が苦手な児童でも、活躍する機会を用意することが出来た。地域の方々や講師を招く事で、多くの大人たちと接する機会を設ける事が出来た。児童が講座を楽しみにしており、参加率向上につながった。

## (4) あすたか全スタッフミーティングの実施と、高校生サポーターの「ステップ」見学

- 目的：役割分担の確認、児童との関わり方共有、高校生サポーターの対応力向上
- 実施回数：1回（8月22日）
- 参加人数：運営責任者1名、指導員1名、地域スタッフ2名、高校生サポーター7名

# 【あすたか】児童アンケートより抜粋

「あすたか」に参加して良かったと思いますか？



あすたかに参加して良かったこと、自分の中で変化したこと、感想などがあれば自由に書いてください。

勉強が好きになった。先生が優しく教えてくれて、よく分かった。でも集中できなかった。良かったことはテストの点数が上がったことです。100点を1年に4回とることができた。すべては先生のおかげだと私は思う。あすたかは私にとって大切な習い事だと思った。  
【小6 S. Y】

「あすたか」に参加して、次のことについてどう思いますか。

